

2年1組 橋本 碧海

私は10日間アメリカへ行き、初めての体験などがたくさんありました。初めての外国、初めてのホームステイ、初めて外国の方に発した自分の英語というように、自分にとって初めてのことばかりでした。ホームステイの家族に自分のやらなくてはいけないことを伝えたり、答えたりすること、見学先でなるべく通訳してもらう前に理解するようにしたりしました。キャンプ場では、アメリカの自然に触れることができ、キャンプ場で過ごした3日間は、日本では経験できないような体験ができました。ほかにも日本にはない食糧があったり、靴で家に入るなど、日本ではない生活や文化の違いに触れられて、とても良い経験ができました。



ホストファミリーと(左から2番目)



キャンプ場で水上スキー

2年3組 根本 隼輔

「日本では常識のようなことでも、アメリカでは非常識になることがある」「周りがすべて英語を使っている」「日本にいれば分からなかつただろうなと感じる」、この研修で一番に感じたことは、視野の狭さです。自分がしていることに対しての固定概念を捨て、自分のこと以外にも注目をしなくてはいけないことがわかりました。また人の温かさとしらさを感じることもできました。アメリカの人々からは、だれにでもあるチャンスを生かすことのできる積極性も学びました。今の自分にでもできると感じたのは、気持ちの持ち方です。自分を高める気持ちの持ち方を身に付け、この研修の成果を生かしたいです。



ホストファミリーと(右から2番目)



グレンロック消防署での体験

2年2組 西牧 良弥

僕が今回の研修で立てた目標は、積極的にたくさんの人に話しかけることと、異文化交流をすることでした。できるだけたくさん会話して、たくさんの人と交流ができ、とても貴重な経験になりました。

グレンロックやキャンプ場の人は、とても優しく、少し不安だった英語も簡単な単語を使って話しかけてくださったので、僕でも聞き取ることができました。また、アメリカの人はとてもフレンドリーで、一緒にウノをやったり、トランポリンをやったりしてとても楽しく気軽に過ごすことができ、充実したアメリカでの生活になりました。

この経験を学校や普段の生活の中で生かしていきたいです。



ホストファミリーと(右から3番目)



キャンプ場でサバイバル体験(右)